

Pick Up

[英国アクチュアリー会月刊誌「The Actuary」2010年11月号から]

2010.11.12

欧州調査部会

EU男女平等法は、保険商品の不平等を招く可能性あり

EU gender equality legislation could lead to inequality in provision of insurance products

保険料率の設定や年金計算においても”男女平等”を求めるEUの動きは、不平等の拡大につながるかもしれないと、英国アクチュアリー会が警告している。

概要

警告は、EC司法裁判所の法務官¹ **Juliane Kokott** の声明に対して発せられた。法務官は、男女で異なる保険料率や年金計算を行う習慣はEU性差別法² 違反であると主張したのである。

記事では、この法務官は社会的要因や経済的要因が個人のリスクに影響を及ぼすのであって、性別に本質的に関連があるわけではないという見方をしていると指摘している。これに対して、性別は個人間で明らかに定義された識別子であり、各々の性別による典型的な特徴によりリスクレベルを特定することに役立つものであると反論している。また、明白なリスクの差によって群団を分類しないことは、集団の大多数の人に大きな不平等を招くかもしれないと主張し、その例として、英国アクチュアリー会の2名のコメントを紹介している。

コメント

英国アクチュアリー会 医療・介護委員会³ **Bill Baker** 氏のコメント（要約）

「女性の方が長生きであるにもかかわらず、終身年金のプライシング時に男女間で区分を設定することが禁止されるとすれば、保険会社は保険料を女性に合わせようとするし、そのような高価な年金を男性はまず購入しないだろう。

差別は間違っているが、実際の差別とは何かについて、社会的に同意が必要である。このままだとアクチュアリーは、信頼できる統計的証拠からリスクが低いと考える群団に対しても廉価な保険商品を提供することができなくなるだろう。」

¹ Advocate General of the European Court of Justice

² EU sex discrimination laws

³ the Profession's health and care committee

英国アクチュアリー会 損害保険委員会⁴ Duncan Anderson 氏のコメント (要約)

「区別を差別と見るべきではない。そんなことをしたら、保険商品の公平なプライシングに関する我々の能力を危険にさらすことになるだろう。例えば、若い男性ドライバーは、平均的に女性よりも多くの金額を保険会社に請求している。もし保険料設定の際に性別を考慮できないならば、男性ドライバーの保険料は今よりも安くなり、女性ドライバーについては高くなるだけでなく、男性は安くなった保険料でさらに危険なクルマに乗ろうとさえするだろう。

アクチュアリーは統計的な証拠に基づいてリスクを考察するが、これによって特定の群団のドライバーが他の群団よりも事故を起こす傾向があることが示されているならば、このことを反映した価格設定を保険会社ができるようにすべきである。」

※ 原文をお読みにになりたい方は英国アクチュアリー会の HP をご覧下さい

<http://www.the-actuary.org.uk/archive>

以 上

⁴ the Profession's general insurance committee